

「かんぼの郷庄原」の取得を決定

企画課企画調整係 ☎0824-73-1128

市は、日本郵政株式会社から譲渡の打診を受けていた「かんぼの郷庄原」について、取得することを決定しました。

「かんぼの郷庄原」は観光振興や交流促進に加え、市民および市内外の団体の会議や会合、温泉設備による健康増進に利用されていることから、本市にとって不可欠な施設であり、今後も維持する必要があると考えています。

取得後は、市民や利用者に愛され、末永く活用してもらええる施設となるよう、市が管理運営を行ってまいります。

なお、取得判断の参考とした、各種団体・市民などへの意見聴取の結果や、今後の収支、修繕・改修の見通しは次のとおりです。

また、資料や寄せられた意見などは、市ホームページに掲載しています。

団体・市民への意見聴取

(1) 意見聴取の方法など

市の取得方針に対する意見を聴くため、各種団体・市民などからの意見を募集しました。募集に当たり、関係資料を市ホームページに掲載した上で、広報しよばら6月号、市ホームページ、住民告知放送などで募集方法を周知しました。

(2) 意見聴取の結果

次の「意見聴取の結果」のとおり、各種団体、市民など共に賛成意見が反対意見を上回る結果となりました。

■意見聴取の結果

意見	各種団体	市民など	合計	割合
取得に賛成	39	13	52	74.3%
取得に反対	2	10	12	17.1%
どちらでもない	4	2	6	8.6%
合計	45	25	70	-

(3) 賛成・反対の主な理由など

取得に賛成とした意見では、「観光施策の中心施設である」「市民の健康増進や交流を促進する施設である」という理由に加えて、「市内での雇用の確保や市内事業者との契約など、地域経済においても本市に不可欠な施設である」という理由が寄せられました。

また、取得後の維持管理については、「市の負担を抑制し柔軟な運営を行うため、指定管理者制度にこだわらず、広く民間事業者の活用を検討すべき」との提言もありました。

一方、取得に反対とした意見では、「民間が取得しての活用を目指すべき」「施設の収益性が疑問である」といった理由が寄せられました。

こうした意見を踏まえ、今後の管理運営に生かしていきたいと考えています。

今後の収支の見通し

市は昨年6月、経営状況やマーケティングなどの分析を専門家に依頼しました。その結果、洗い出された課題に対し必要な改善策を講じ、生産性の向上を図ることで、売り上げが減少しても、利益が確保できる収益構造の予測が示されました。

市はこの収支モデルを基に、取得後10年間における収支を推計し、安定した経営が可能と考えています。

修繕・改修の見通し

取得後10年間における、施設の修繕および改修に要する概算経費は、施設の長寿命化や機能向上を図るための改修経費（空調更新やLED照明器具への切り替えなど）として約1億2千万円、機器類など緊急に修繕が必要な経費（温泉設備や消防用設備などの修繕）約8600万円を含め、合計約2億6千万円と試算しています。

一方、右記以外にも予測していない故障による修繕や、新たなニーズに伴う改修が発生する場合も想定されま

問い合わせ

企画課企画調整係

☎0824・73・1128

ホームページ

http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/industry/cat/post_1195.html

